

かいほつ

60号

題字 連尺小学校
6年 山下 淳

岡崎市現職研修委員会
特別支援教育部会

平成21年 2月27日発行



▲ほくも、ハンドベルデビューしたよ（連尺小）

高等学校三年A子さんの話です。



勇気をくれた彼

六ツ美中学校長

野村 正文

私は、電車通学をしています。時折、電車の中で見覚えのある高校生を見かけます。見かけるたびに「だれだったかな」と、考えていました。ある時、ふっと思い出しました。中学校のとき、私のクラスに交流学習でやってきたY君でした。今のY君は特別支援学校の生徒で、同じ路線の電車で通学しています。とても話好きの子でした。思い切って声を掛けると、Y君も私のことを覚えていてくれました。その後、会うたびに笑顔で話しかけてくれるようになりました。Y君は、学校での勉強、行事、クラブ、職場実習、就職など、次から次へと自分のペースで話してくれました。

「先週まで、〇〇〇〇という会社の実習に行ってたんだ。製本っていつて、印刷された紙をまとめて一冊の本にするんだ。なかなかうまくできなくて、緊張ばかりしていたんだ。だから余計にうまくいかなかったんだ。合格できるように頑張ったけど、・・・」

「今年、マラソン大会あるんだ。二年は、途中で発作を起こして最後まで走れなかったんだけど、今年は頑張るんだ。最後まで走って五十番以内に入ることが目標だよ。」

「前、職場実習行っていた会社、だめだった。ぼくともう一人。二人だめだった。でも、次の職場実習へ行く会社を探してくれるって、先生が言ってくれた。今度こそは、採用してもらえようがんばるよ。」

彼の話には、屈託がなく、なぜか私の心に深く染み込んでくるのです。私自身も大学受験を控え、思うように勉強がはかどらなかつたり、友達とうまくいかなかつたりして、落ち込むことがあります。そんな時、彼の話を聞いていると、何かやる気とか勇気とかが湧いてきたのです。

Y君のいちずな生き方を、A子さんは素直な態度で真剣に受け止めています。人は、一心に事に取り組むと、こんなに感動を与えてくれるものか。この二人から、素心で生きていくことの大切さを教えられました。



「モルモット、かわいいな」
岩津小 六年 飯嶋凌也

北ブロックこりゆう会は、すごく楽しかったです。
はじめの会をしました。それから、モルモットにさわりました。モルモットはかわいかったです。毛がふわふわでした。ぼくは、きつねチームで動物を見てお昼ごはんを食べました。それから、バケツ玉入れや魚つりやはこたおしであそびました。
北ブロックこりゆう会は、すごく楽しかったです。

子どもと親の集い ブロック交流会

北ブロック
岩津小 三年 荒井 大樹

バスに乗って行きました。大樹寺駅にいたら待ちました。また、バスに乗りました。東公園につきました。



交流会での励ましてオーディション合格
文化祭の晴れ姿

東海中 二年 中村 祐哉
東海・額田ブロック
拍手がいっぱい

ぼくたちは、交流会の自己紹介で、文化祭のオーディションで歌う「羞恥心」の歌を歌いました。拍手がいっぱいきました。

そのあとは、お店屋さんを開きました。ダーツ屋さんをしました。お昼には、みんなで持ってきた野菜と肉でおいしい豚汁を作り、三杯もおかわりして食べました。閉会式のあと、アンコールでまた「羞恥心」の歌と踊りを披露しました。交流会でみんなにたくさん拍手してもらったので、歌にも踊りにも自信ができました。

ぼくたちは、見事オーディションに合格して、文化祭でも拍手をいっぱいもらいました。



開会式でキック&キャッチの説明

今年はワークショップ形式に挑戦

竜海ブロック

竜海中 教諭 中野 悟

竜海中学校「キック&キャッチ」(シューの原理でボールを飛ばして受ける)、竜美丘小学校「パターゴルフ」、三島小学校「ボーリング」、六名小学校「輪投げ」と、それぞれの学校が同時にゲームコーナーを作り、みんなで楽しめました。手作りの景品も好評でした。

午後からは、中学校を卒業してからの進路について保護者と教師で勉強会。その間、子供たちは、体育館で紙飛行機飛ばしを楽しみました。紙飛行機は、竜海中学校の生徒たちが作った本格的なミニグライダー。楽しそうに遊ぶ小学生を見て、作った中学生も充実感を味わうことができました。

今年度も「子どもと親の集い交流会」が、各ブロックで盛大に開催されました。

各校、趣向を凝らした模擬店やゲーム、デイキャンプや料理など楽しい催しが数多くありました。保護者の方の情報交換会や懇親会などを行うブロックも増え、中には、勉強会を開くところもありました。

「子どもと親の集い交流会」が、ブロックの恒例行事として定着し、子供も保護者も楽しく有意義な時を過ごすことができています。

子どもと親の集い交流会 各ブロック活動一覧表

北	動物とふれあい&わくわく遊び
葵・城北	各学校模擬店・保護者コーナー・じゃんけんゲーム
甲山	フルーツポンチ作り・フルーツバスケットなど・保護者懇親
美川	デイキャンプ・保護者懇談会
東海・額田	交流ゲーム・学校単位のお店屋さん・豚汁作り
南・福岡	各学校紹介・講師による音楽遊戯・保護者懇親・情報交換会
竜海	各学校のゲーム・紙飛行機飛ばし・保護者、教師の勉強会
竜南	カレー作り・ふれあいゲーム大会・保護者情報交換会
六ツ美・ 六ツ美北	各校模擬店・ふれあいゲーム
矢作・矢作北	各学校のゲーム・カレー作り・保護者懇談会

小学校 研究発表会

細川小

教諭 後藤 久里子

五組の「もっととひっ算のしかたを考えよう」では、二つのお菓子を買い場合の式・筆算・お金の払い方を学習しました。友達の考え方を知り、かかわり合うことができるように、一人一枚ホワイトボードを使って授業を進めました。その後、買い物手帳へ記入し、六組の駄菓子屋へ買い物に出かける模擬体験をしました。

六組の「一〇〇より大きなかずをおぼえよう」では、金種の学習やレジ打ちの練習をした後、五組のお客さんを迎え、お店屋さんの仕事をしました。子供たちからは、「楽しかった」「もっとやりたい」という声。本物のお菓子やお金でのお買い物は楽しく、真剣でした。



楽しくお買い物

コーディネーター部会の 取り組み

岡崎市の特別支援教育部は、コーディネーター部会と特別支援学級部会とで構成されています。ここではコーディネーター部会の取り組みを紹介し

ます。本年度も研修会が三回ありました。それぞれの会で講義と研究協議がありました。第一回の講義は愛知教育大学の吉岡恒生准教授による「特別な支援を必要とする子供及びその保護者への対応について」でした。第二回は岡崎女子短期大学の白垣潤准教授による「個別の対応について」、第三回は愛知県教育委員会特別支援教育課の酒井洋一指導主事による「特別支援教育の現状と課題について」でした。

第一回の研究協議は「対応の難しい事例の検討」と「特別支援教育体制整備状況」についての討議で、より良い支援体制のあり方を検討しました。第二回では「個々への支援事例検討」として、各学校における特別支援教育に関する課題を取り上げて検討しました。第三回は「校内支援体制の整備について」で、本年度の反省と来年度の対応策を検討しました。毎回同じメンバーだったので、充実した研究協議になりました。

みあい養護学校

愛知県立安城養護学校の適正規模化を図るとともに、西三河地区の児童生徒の通学時間の短縮を図るなど、この地区の特別支援教育を一層充実させることを目的として、平成二十一年四月一日に、愛知県立みあい養護学校が開校されます。

対象児童生徒は、西三河東部地区（岡崎市・幸田町）在住の知的障害児児童生徒です。

最寄りの駅は名鉄美合駅です。美合駅から西方へ、歩いて十五分ほどのところにあります。愛知県青年の家のすぐ近くです。



みあい養護学校 校舎の外観

学級紹介 恵田小



「いよいよ出発！」

教諭 二瓶 昭子

恵田小学校たんぼ組は、本年度に新設されたばかりの二年生女子一名の学級です。たった一名なので、交流活動を重視して活動しています。

前年度、ともに活動していた二年生の交流クラスとは、音楽、体育の授業ばかりでなく、一学期は運動会、二学期は学芸会、三学期はマラソン大会と一緒に参加して、頑張りました。

また、北ブロックの交流会をきっかけに、その後も、岩津小学校と交流を続けています。十二月には、岩津小の子を恵田小に招き、一緒に落ち葉スキーを作り、松かさでクリスマスツリーを作り、お弁当を食べて、とても楽しい一日を過ごすことができました。

日常生活に必要な読み書きと計算を主とした学習と、充実した交流活動を通じて、社会性も着実に身につけることができるよう取り組んでいます。



卒業を前に

中学校へ行っても

六ツ美南部小 米津 未希

わたしは、三年生から七組に入りました。AちゃんとBちゃんがいました。二人ともなかなか良くなれそうでした。漢字や計算、買い物のお金も覚えました。買った物は、一人で出来るようになりまし。修学旅行では、おみやげをいっぱい買うことができました。もうすぐ私は、小学校を卒業します。中学校へ行ったらもっとべん強していろいろなことができるようになりたいです。

頑張れ 娘よ

六ツ美南部小 米津 幹人

早いもので、楽しみと期待をもち入学し六年が過ぎようとしています。六年間で色々なことがあり、一番は四年生の終わりに母親が病気で、この世を去る非常につらい出来事がありました。小さな心に大きな傷も受けましたが、負けることなく頑張っていました。周りの友達に比べれば歩みは遅いですが、マイペースで良いので、少しずつ止まることなく一歩一歩前へ進んでくれるよう、親として娘へエールを送ります。

ありがとう

矢作中 足立 圭佑

ぼくは、中学一年から九組に入りました。学年の違う人と一緒に勉強するのは初めてで、最初は緊張しました。でも、先輩たちは優しく迎えてくれました。今、ぼくは新しい進路のためにしっかり生活し、勉強もがんばっています。九組に入ってなかったら、学校がこわくて通えなかったかもしれません。九組の仲間や交流学級の人たちと助け合い、励まし合って、三年間はあつという間に過ぎました。とてもいい三年間でした。

苦難を乗り越えて

矢作中 足立 なをみ

数年前、長男は不登校になりました。朝起きられない息子を元の状態に戻すのは、本当に至難のわざで、辛く苦しい日々の連続でした。中一の秋ごろ、特別支援学級を勧められました。体験、通級、転籍とステップを踏み、現在は不登校だったことを忘れてしまうくらい、落ち着いた学校生活を送っています。これも、私たち親子に関わってくださった先生方や友だちのおかげと本当に感謝しています。

卒業生の卒業後の進路

平成二十一年度開設される「みあい養護学校高等部」への進学という新しい門戸が開かれた進路指導でした。

(二月二十日現在)

進路希望先		男子	女子	計
愛教大附属養護学校	1	1	2	3
みあい養護学校	12	6	18	24
豊川養護学校	0	0	0	0
豊田高等養護学校	8	2	10	10
半田養護桃花校舎	0	1	1	2
高校(全日制)	0	1	1	2
高校(定時制)	6	1	7	7
専修学校	1	2	3	3
春日台職業訓練校	0	0	0	0
就職・その他	2	3	5	5
合計	30	17	47	47



今年度の表彰

平成二十年度
頭影児童生徒
甲山中学校三年 中根 英和

第四回中学生ロボット
コンテスト大同大会
デザイン賞
六ツ美北中学校三年 石川 琢磨

第二十八回手作り学級新聞
コンクール
銀賞
藤川小学校 三組

読書感想画コンクール特別賞
市教育委員会賞
城南小学校二年 北谷 くるみ

